

岐阜県飛驒牧場における

第 11 回全国和牛能力共進会(飛驒牛改良)の取り組み

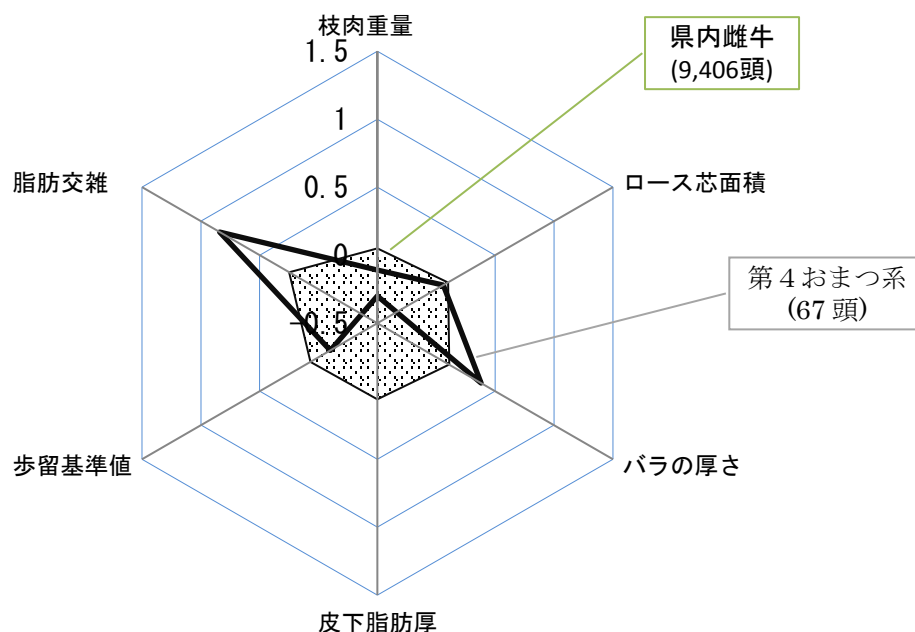
第 11 回全国和牛能力共進会は、平成 29 年 9 月 7 日 (木) から平成 29 年 9 月 11 日 (月) まで、宮城県仙台市の「夢メッセみやぎ」で開催されます。そのうち、第 4 区 (系統雌牛群) は育種組合による系統再構築に向けた計画的な取り組みを推進するために設けられた出品区です。

岐阜県は、「おやま系」、「くらいやま系」及び「やすふく 5 系」の 3 つの系統が出品候補になっており、「やすふく 5 系」は、始祖牛「第 4 おまつ」から 10 世代目の「やすふく 5」が平成元年 3 月 18 日に飛驒牧場で生まれたことから始まります。

始祖牛である「第 4 おまつ」(予岐 816)は、昭和 18 年に岐阜県揖斐郡小島村 (現：揖斐郡揖斐川町) に生まれました。父は「谷」、母は「第 2 おなか」と記録されています。

公益社団法人 全国和牛登録協会によると「第 4 おまつ系」雌牛 67 頭と県内供用中の雌牛 9,406 頭の産肉能力を比較してみると、とくに脂肪交雑の育種価が高い傾向にありますが、発育や枝肉重量、皮下脂肪厚には課題があるということです。

第 4 おまつ系雌牛と県内供用中雌牛との産肉能力育種価 (σ 単位) の比較



「やすふく 5」は、平成 3 年から平成 10 年まで生涯で受精卵産子 7 頭を含む 14 頭の子牛を生産 (うち登録牛 5 頭) し、その平均分娩間隔は 375 日と、繁殖能成績にも優れていました。

「やすふく 5」は、BMS 育種価が 2.831 で県内でもトップクラスの能力を有していたため、糸福(黒原 2151)を交配し、種雄牛「糸福 171 の 8」を生産しました。また、娘牛「ひしげかつ 171」には、安晴王(黒原 2958)を交配し「飛驒白真弓」を生産しました。他に娘牛が残っていなかったため、受精卵移植によって娘牛 3 頭を生産しましたが、そのうち「ひひら 171 の 2」に「糸福 171 の 8(黒原 4008)」を交配し「飛驒之匠」を造成しました。

飛驒牧場では、この「やすふく 5」の娘牛の産子を保留し、増殖に努めてきました。この系統雌牛

は、平成27年8月末現在68頭で、そのうち56頭が飛驒牧場において繋養されています。

「やすふく5」の血統は以下のとおりです。

安福(岐阜)	安谷土井	安美土井	田安土井 [兵庫・美方]	田福土井 [兵庫・美方]	
		黒育48 [兵庫・美方]	黒育6	黒2685	
		いつひめ	ふくむすめ [兵庫・美方]	菊美土井 [兵庫・美方]	
	黒育85 [兵庫・美方]	黒高42150 [兵庫・美方]	田森土井 [兵庫・美方]	田福土井 [兵庫・美方]	
			黒7663	黒2685	
	黒育180 [兵庫・美方]	ちずる	安美土井	田安土井 [兵庫・美方]	田福土井 [兵庫・美方]
黒育48 [兵庫・美方]			黒育6	黒2685	
黒育7592 [兵庫・美方]		とくはる	ふくむすめ [兵庫・美方]	菊美土井 [兵庫・美方]	
		黒高35150 [兵庫・美方]	黒育498	黒育5	
		徳藤土井 [兵庫・美方]	田藤土井 [兵庫・美方]		
		黒8987	黒高179		
		すずよし [兵庫・美方]	茂金波 [兵庫・美方]		
		黒高29913	黒育7		
きよこ	安波	安美土井	田安土井 [兵庫・美方]	田福土井 [兵庫・美方]	
		黒育48 [兵庫・美方]	黒育6	黒2685	
		さだふく	ふくむすめ [兵庫・美方]	菊美土井 [兵庫・美方]	
	黒原1393 [兵庫・美方]	黒高51509 [兵庫・美方]	茅生波 [兵庫・美方]	茂茅波 [兵庫・美方]	
			黒原159	黒育15	
			りさ [兵庫・美方]	田藤土井 [兵庫・美方]	
	黒1785987 [岐阜・大野]	ちえみ	富清	黒1134405	黒高179
			黒11201 [岐阜・下呂]	茂富士 [兵庫・美方]	茂金波 [兵庫・美方]
			もりまさ	黒育93	黒育7
黒1714484 [岐阜・大野]		黒1418993 [岐阜・高山]	あさみ [岐阜・下呂]	新月 [岡山・真庭]	
			黒育5957	黒育94	
			宝木5 [岡山・新見]	第2中山 [岡山・新見]	
		黒10251	黒育17		
		たかえ [岐阜・高山]	第3幸福 [岐阜・高山]		
		黒1113019	黒8488		

第11回全国和牛能力共進会の第4区の出品条件は、「育種組合によって、系統雌牛にその系統内から造成された種雄牛を交配して生産された産子であること」となっており、第4区の出品月齢は14ヶ月以上のため、平成28年7月7日以前に生まれた牛が対象となります。そのため、岐阜県出品対策委員会は第4区系統雌牛の指定交配（系統内交配）牛を「飛驒白真弓」とし、平成27年9月26日までに集中して種付けをおこないました。

飛驒牧場は、平成25年度から積極的に出品牛対策を行っており、その一環として系統雌牛を飛驒地域へ広げるため雌子牛を飛驒育種組合へ譲渡しています。この岐阜県出品対策委員会の指定交配を33頭の系統雌牛に行い、26頭を生産いたしました。うち雌牛は(平成28年4月末現在)10頭で、飛驒牧場の繁殖雌牛に振り替えた(種付けをした)ものは3頭、その他2頭は地域内農家へ譲渡しました。そのほか、平成27年度末まで飛驒牧場で採卵した受精卵25卵を育種組合に無償で提供しました。

平成28年6月1日に開催された第11回全国和牛能力共進会の第4回岐阜県選抜会では、牧場で飼育している平成27年10月24日生まれの「ひまゆ795の2」を出品しました。「やすふく5系」が第11回全国和牛能力共進会へ出品できることを期待しています。